

## 森林のはたらき

日本の国土面積は、3,779万ヘクタールですが、そのうち森林は、2,508万ヘクタールで、2/3を占めています。

この森林には、さまざまなはたらきがあり、これを“森林の持つ多面的機能”といいます。具体的には、木材生産のほかに、山地の災害や土砂の流失を防ぐ機能、水質を浄化し洪水や濁水を緩和する機能、安らぎや憩いの場を提供する機能、二酸化炭素を吸収し貯蔵する機能、多様な生物が生息・生育する機能などのたくさんの機能があります。

日本学術会議の試算では、これらの機能の評価額が、年間約70兆円とされており、日本の森林面積で割ると、約280万円/ヘクタールとなります。

この算出に基づき推計すると、熊本県の森林面積は約46万ヘクタールありますので、約1兆3000億円の評価額となります。このうち、林業公社の施業面積は8,480ヘクタールありますので、約237億円の評価額となります。

森林の持つ機能	評価額
表面浸食防止	28兆2,565億円/年
水質浄化	14兆6,361億円/年
水資源貯留	8兆7,407億円/年
表層崩壊防止	8兆4,421億円/年
洪水緩和	6兆4,686億円/年
保健・レクリエーション	2兆2,546億円/年
二酸化炭素吸収	1兆2,391億円/年
化石燃料代替	2,261億円/年
計	70兆2,638億円/年

日本学術学会が発表した森林の持つ多面的機能



川辺川（球磨郡五木村）